

平成 28 年度(2016 年度)事業報告

平成 28 年 6 月 1 日から平成 29 年 5 月 31 日

【会 議】

1 総会

第5回通常総会 平成 29 年7月21日 グリーンエデュケーション本社

【事 業】

2016 年度は、これまで 4 年間に渡り和歌山県の地域振興やふるさと教育活動を通じたコンテンツ制作技術や教材制作ノウハウを集約し、本年度から世界に地域の魅力を発信していくメディアづくりとコンテンツづくりを中心に展開してきました。また同時に、従来の観光振興にはない切り口で発信していく協働型のモデル開発に取り組んできました。

事業成果は、以下の通りです。

1. 観光振興 自治体協働発信事業

和歌山県の西牟婁振興局からの受託事業として、南紀熊野スポーツ合宿協議会のプロモーション映像の制作。

これまで多くの自治体から受託した映像制作ノウハウやドローン技術を活かして、田辺市、みなべ町、上富田町、白浜町、すさみ町五ヶ所のスポーツ施設を撮影し、総合版 10 分映像とショート版 90 秒の SNS 用コンテンツを納品。

これまでの観光映像と異なり、スポーツ合宿を通じた紀南の魅力発信に取り組む支援を実施できました。

2. ふるさと教育及び ESD 協働モデル事業の推進

上記のスポーツ観点と同様に、地域資源の魅力を学び発信していく視点として、この地が生んだ偉人 南方熊楠にフォーカスし、その魅力を発信していく事業を立案。代表理事が兼務する東京の生物多様性普及啓発団体(一般社団法人 CEPA ジャパン)との協働モデル事業として、熊楠ゆかりの地のガイドブック発行企画会議を開催。

南方熊楠は、エコロジーの先駆者としてこの紀南熊野をフィールドの神社合祀反対運動をはじめ、エコロジーや生態系保存を訴求し、文化の多様性や生物多様性保護の重要性を説いた偉人。

天神崎を大切にする会の玉井理事をはじめ、熊楠顕彰館の理事等 30 名にご参加頂き、田村先生の講義や発行に至る内容を議論しました。

平成 29 年度 CEPA ジャパンから発行予定。

3. 地域魅力発信事業

当団体はこの 4 年間、南紀熊野ジオパークをはじめ、熊野や高野山を中心に AR を活用した観光振興冊子や動画コンテンツを制作受託してきました。本年度は、その素材を有効に活用し自主制作コンテンツを作り上げ、SNS(Facebook やInstagram)で発信していきオリジナルメディアを構築。

成果として、合計 70 本を超える SNS プロモーション映像を作り上げ、実験的に SNS にて発信し、その効果等検証。

KII Walk という海外ブランドコンテンツを作り上げ、次年度に本格的に海外に向けて発信するプラットフォームを構築予定。その基盤と効果検証を行いました。